

生徒が企業のインタビューをした智頭農林高校の紹介

智頭農林高校は、400年以上前に植林されたとされる『慶長杉』が残る、歴史ある林業地、智頭町に位置しています。森林科学科は、県内唯一の林業に関する学科であり、地域産業担い手を育成するため、地元の森林組合や林業家、県と連携した取り組みを行っています。校舎から約8km離れた上板井原地区に演習林があり、その約6割を杉の人工林が占めています。本校は、地域から期待される林産業の人材育成に力を入れています。将来的には、生徒が作った高校の製品で智頭農林高校のブランド品をつくりたいと考えています。また、学校の授業で調査研究を行い、地域の人々と協力して智頭スギの魅力を全国に発信できるようにしたいです。



智頭宿魅力アッププロジェクト

智頭宿魅力アップに貢献するために地域の方々に協力をいただきながら本校の生徒が格子戸と藍染めのれんの作製を行うプロジェクトです。格子戸の材料は智頭スギを使用しています。2023年で10年目になり、智頭町の景観向上に貢献しています。



木製建具

襖、障子、板戸、ドアなど

Joinery 

